

## 医師部門（医療関連団体への貢献）

受賞者： <sup>ながせ</sup>長瀬 <sup>きよし</sup>清（77歳）  
北海道医師会 会長



長瀬清氏は北海道大学大学院を卒業後、大学附属病院にて講師を務める。昭和 58 年、札幌市内に「長瀬内科医院」を開業。地域住民の健康管理を行う傍ら、札幌医師会の中央東支部長を務めるほか札幌市医師会夜間急病センターにて運営委員を務めるなど、地域医療の推進や時間外救急医療体制の強化など地域の医師会活動に精力的に参加してきた。

平成 11 年 4 月には北海道医師会の副会長、平成 19 年 4 月には北海道医師会の会長となり、北海道の医師のリーダーとして、道内数多くの医療・福祉関係団体等の要職に就く一方、地域医療の改善に尽力している。

救急患者発生から初期治療を開始するまでの所要時間や、地域医療格差を縮小すべく、ドクターヘリの導入を積極的に推進。平成 17 年 4 月、全国で 9 番目に正式運航を開始した。さらに、悪天候時や夜間などにおける試験運行やその後の北海道航空医療ネットワーク研究会（Hokkaido Air Medical Network-H.A.M.N-（ハミン））の設立など、広大な北海道の地域医療に多大な貢献を果たしている。

平成 20 年から現在まで日本医師会理事の要職を務め、理事会ではこれまでの経験を活かした議論を深化させている。なかでも日本医師会の医療政策会議委員を長年にわたり務めており、日本医師会における医療政策の方針決定に多大な貢献を果たしている。

77 歳を迎えた現在も北海道を中心とした地域医療に積極的に取り組んでおり、長年の医師会活動をはじめ保険・医療・福祉に貢献している。

推薦者： 横倉 義武 公益社団法人日本医師会会長